

30	29	28	27	26	25	24	23	22	21	20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
鍵穴の昔の形懐かしい	さあ帰ろうもうすぐ鍵が掛けられる	鍵かけた二トを親は持て余す	認められ心の鍵を捨てていく	何時だつて心を開くキーを持ち	三合目が鍵だったのか翔んだ記憶	神様も賽銭箱に鍵が要る	合い鍵を渡すあいだになりました	サクラサク十指が踊るキーボード	鍵穴にスプレー射してスムーズに	鍵穴を覗くと見えて来る秘密	鍵おわり好い日旅立ち老夫婦	スペアキー返しピリオド打つた恋	忘れもの鍵がとつさに出てこない	付度で開く鍵穴あると言う	錆びてきた合鍵すこし重くなる	アイですか残り火の鍵力ネですか	妻が鍵しつかり握り五十年	鍵穴に合わせるような人になる	足音も鍵もそーつと午前様	スペアなら防犯堂ですぐできる	難問へちよいとヒントを出してやる	忘却の彼方へカギを投げ飛ばす	顔認証K O 負けで拒否される	掛けたかな 外出したがまた戻る	相鍵を渡され足が宙に浮く	鍵要らぬここが好きです過疎が好き	子の部屋の扉は鍵で開きよらん	復活の鍵は高めの剛速球	会議室本音のドアに鍵かける

課題 「鍵」

60	59	58	57	56	55	54	53	52	51	50	49	48	47	46	45	44	43	42	41	40	39	38	37	36	35	34	33	32	31
留守番の犬が駆け寄る鍵の音	鍵だつて甘えてみたい時もある	鍵穴の秘密を知つた妻の乱	最悪の選択鍵をこいつらに	入学と下宿の鍵にある希望	いつの間にか心の鍵は錆びついて	キーマンに会って商談動き出す	鍵っ子の心を埋めるおもちゃ箱	マスターキー持つてる妻に逆らえぬ	キーボードの上をさ迷う指ひとつ	蔵の鍵だけは渡してくれぬ鍵	鍵なんてなかつた故郷の昭和	合鍵を持たぬ風の子ひとり旅	古文書もとく鍵ひとつなれること	信頼をされても困る鍵ひとつ	鍵盤に確とバイエル教え込む	鍵掛けて空の金庫をガードする	引きこもる鍵が錆び付く子供部屋	引き渡しどれがどれのか鍵の束	春風がハートの鍵を開けに来る	鍵束の重さで沈む世の情け	音声に乗っ取られ鍵出番なし	キーマンにされて浮かれた椅子がある	凍る地に慣れ鍵穴にガムテープ	慌てんば鍵を手に持ち探し出す	お隣の鍵はあそこに隠れてる	子には子のプライバシーを守る鍵	これからは貴方と生きる部屋の鍵	鍵無くし握つた振りを続けてる	歩が成らなかつたら詰んでいた不思議

( ) 選

